学校番号	２０８

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　社会と情報」　（東京書籍）						
副教材等	「新編　社会と情報　資料ノート」　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会と情報では実習を多く取り入れた学習を行います。実習課題等は時間を有効に使って積極的に取り組んでください。わからないことは遠慮せず質問し，その場で解決するようにしましょう。
友達と協力して行う実習では自ら考え、また友達の多様な考え方も尊重しながらグループの意見をまとめましょう。

2　学習の到達目標

・情報機器を適切に活用し，情報を収集，整理を行い，分析することができる。
・情報機器を活用したコミュニケーションや情報発信において，他者への配慮や責任をもって発信することができる。
・情報化が社会に及ぼす影響や課題について理解し，情報社会に積極的に参画できる。
・コンピュータや情報通信ネットワークのしくみを理解し，情報社会を支えるシステムに関心がもてる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報化が社会に及ぼす影響や課題について関心をもち，社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報を科学的にとらえ，身近な問題の解決方法を考えるとともに，情報モラルを踏まえて，思考を深め，適切に判断し表現することができる。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	コンピュータや情報通信ネットワークのしくみを理解するとともに，情報社会を生きるための基礎的な知識を習得している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報社会の危険性を考える	○ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ ○情報社会の課題を考える ・ｲﾝﾀｰﾈｯﾄへののめり込みが引き起こす問題について考える。 ・ﾈｯﾄﾄﾗﾌﾞﾙの危険性や法律について学習する。 ・個人情報流出の事例を確認する。	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a：「社会と情報」の学習目標について理解できる。 b:ｲﾝﾀｰﾈｯﾄにのめり込まないための方法を考えることができる。 c:/d: ｲﾝﾀｰﾈｯﾄでのトラブルや個人情報流出から身を守るための方法を理解し，生活に生かすことができる。	授業観察 ワークシート 定期考査
1学期	情報化による暮らしの変化	○日常の中の情報システム ・IC タグや電子マネーを学習する ・電子商取引や POS システム，GPS などを学習する。 ○ﾎｰﾑﾎﾟｼﾞｼｮﾝなど，ﾀｯﾁﾀｲﾋﾟﾝｸﾞの方法を習得する。	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a：日常生活の中で使われている情報システムに関心を持っている。 b：情報技術が社会生活に及ぼす影響と役割について考えている。 c：ﾀｯﾁﾀｲﾋﾟﾝｸﾞの基礎知識を身につけ，自力で練習ができる。 d：情報伝達の特徴について理解している。	授業観察 ワークシート 実習作品
		○ｲﾝﾀｰﾈｯﾄの利用 ・WWW の仕組みについて学習する。 ・電子メールが届く仕組みや送受信のプロトコルを学習する。 ・効果的な情報検索の方法について学習する。	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:ｲﾝﾀｰﾈｯﾄの利用方法について関心を持っている。 b: ｲﾝﾀｰﾈｯﾄが社会生活に及ぼす影響と役割について考えている。 c: 検索エンジンの仕組みを理解し，効率よく検索できる。 d:WWW の仕組みや，WWW に関する用語が理解できる。	
2学期	データの分析と研究	○データの活用 ・事例について学習する。 ・データを集め，表計算ｿﾌﾄｳｪｱを活用して，分析を行う。 ・実際の図表を基に，グラフや図表などで表現されたデータの特徴について学習する。 ・高度情報社会を生きる一員として，将来の仕事について業界研究を行う。	○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a：データに関心を持って，分析しようとしている。 b:データの収集および加工について，情報機器を活用し調査研究ができる。 c:データを事後活用を意識しながら収集し，表計算ｿﾌﾄｳｪｱを用いてデータを分析できる。 d: データの分析方法を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査

2学期	問題解決までの道筋	・問題解決の４つのステップを学習する。 ・さまざまな発想法（ブレーンストーミング，KJ 法など）を学習する。 ・著作権の種類を学習し，著作権は何を保護するのか考える。 ・業界研究のグループごとに発表を行う。	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a：著作権を保護する姿勢で，著作物の利用について関心を持っている。 b：情報を扱う際の自分の行動と関連付けて，責任について考えている。 c：情報活用により問題解決をすることができる。 d：問題解決の流れを理解している。	授業観察 ワークシート 実習作品
3学期	ディジタルとアナログ	○ディジタルとアナログ ・おのおののメリット・デメリットを学習する。 ・情報の量の単位，さまざまな記録メディアの容量について学習する。 ・２進・10 進・16 進法について学習する。 ・文字コードやフォントについて学習する。 ・画像のディジタル化について学習する。 ・色の表現方法について学ぶ。 ・音や動画のディジタル化や圧縮の仕組みについて学習する。 ・Web ページでの表現方法を学習する。	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a：様々なアナログデータのディジタル化について関心を持っている。 b：ディジタル化するデータの種類による違いについて考えている。 c： 様々なアナログデータをディジタル化することができる d：ディジタル情報とアナログ情報の特徴とその表現方法を理解している。	授業観察 実習作品 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。